

学生の学修を促す質問の作り方

■講師

川野 卓二（徳島大学 高等教育研究センター 教育改革推進部門 教授）

1982 年、大阪教育大学 大学院教育研究科修了（教育心理学、M. Ed.）。1988 年、ユタ大学 大学院教育心理学研究科修了（学校心理学、Ph. D. ;統計学、M. Stat.）。1997 年より徳島大学 大学開放実践センター勤務。2014 年 4 月より総合教育センター教育改革推進部門へ異動。2019 年 4 月より高等教育研究センターに属し、FD 委員長・教育改革推進部門部門長を兼任。2004 年より全学FDを担当。

■プログラム概要

双方向の授業を行うが求められています、なぜ私たちは、講義の際に質疑応答の時間を十分に割くことを躊躇するのでしょうか？この研修では、学生のより深い学びを起こさせるために授業で利用できる質問技法について理解を深めましょう。

当日は、日頃、自分の授業で使っている質問を持ち寄り、それらを分類し、それぞれの効果について考えます。また、より深い学びにつながるように本質的な質問に書き直すグループワークの時間をとりたいと考えています。そして、それらの質問をどのように組み合わせで学生の学びを深めることができるか話し合うことで、参加者の皆さんの優れた質問技法を共有し、後期からの授業準備に役立つヒントを持ち帰っていただきたいと思います。

■準備物や事前課題

授業で学生によく尋ねる質問（10個）をA4用紙1枚に記載し、必ずご持参ください。

■主な受講対象

授業の際、効果的な質疑応答の時間が持てていないと感じている教員や、より深い学びにつながる本質的な質問をしたいと考えている教員の方を歓迎します。

■本プログラムの到達目標

1. 授業で使用する質問が持つ機能について説明できる。
2. 自分の授業で用いている質問の型を分類できる。
3. 使っている質問を、学生の学びをより深める本質的な質問に変えることができる。
4. 使用する質問の型を授業の展開に合わせて適宜変えることができる。

■日時・場所

日時：令和元年8月29日（木）13：00～15：00

場所：愛媛大学城北キャンパス